

The Nursery Rhymes of England の 第2版と海賊版との比較*

藤 野 紀 男**

I. はじめに

ジェームズ・O・ハリウェル (James Orchard Halliwell, 1820-89) が著した *The Nursery Rhymes of England* ⁽¹⁾ (1842年初版) は、マザーグース⁽²⁾ 集成史において、大変に重要な地位を占めている。

それは

- (1) それまでの集成に比べて、収録している唄の数が圧倒的に多い⁽³⁾ というだけでなく、
- (2) イングランド各地に古くから伝承されてきた童謡を、文献と聞き書きによって、実に網羅的に収集している

うえに、とくに

- (3) マザーグース集成史上初めて童謡の分類を試みていることなどが理由である。

それゆえに、*The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes*⁽⁴⁾ (1951年) が出版されるまでの約100年間にわたって、マザーグース集成の編集やマザーグース研究のための唯一の基礎的な文献と見なされてきたのであった。

しかし、この *The Nursery Rhymes of England* には、まだ完全には解明されていない点がいくつかあるのである。中でも、

- (1) 1842年版⁽⁵⁾ を初版とするのが通説となっているが、この版はハリウェルが The Percy Society の会員に配ったものと同一のものなのであろうか？
 - (2) 1843年出版の第2版では100番と106番の唄が同じものであると断定できるが、このように重大なミスが放ったままにされていたのであろうか？
 - (3) 第6版の出版年と内容に関して異説が存在するが、どうしてなのだろうか？
- などがとくに気になるであろう。

これらの解明されていない点のいくつかについては、アメリカで出版された海賊版が光明を投げかけてくれると考えられるので、この海賊版と1843年出版の第2版を比較しながら、いささかの考察を試みることにする。

* A Comparison between the 2nd Edition and the Pirated Edition of *The Nursery Rhymes of England*

** Toshio FUJINO, the Course of English Language & Literature

II. イギリスにおける重版

比較に取り掛かる前に、*The Nursery Rhymes of England* のイギリスにおける重版について簡単にまとめておくことにする。海賊版の原本を特定するためにはどうしても必要であるからである。

この本は、著者さえ驚くほどに好評だったことに加えて、著者の精力的な収集努力の成果もあって、ただ版を重ねるだけではなく、出版の度に増補改定がなされたのであった。その点については、同書の第5版の復刻版⁽⁶⁾の Publisher's Note の中で

There was a second edition bearing the imprint of John Russell Smith, Soho Square, in 1843, "with alterations and additions," a third in 1844, and a fourth in 1846, with illustrations, with additions and with the contents rearranged. The British Museum Catalogue records two further edition in 1853 and c. 1860...

ソーホー・スクエア在住のジョン・ラッセル・スミスという奥付けのある増補改訂第2版が1843年に出版され、第3版が1844年に、整理し直されたうえ、イラストを添えられた増補第4版が1846年に出版された。大英博物館の蔵書目録によれば、さらに1853年と1860年頃に出版された2つの版もあるという。

と簡潔にまとめられている。

いま、その他の文献に記されていることも合わせて、重版の出版年に関する諸説を一覧表にまとめてみると次のようになる。

	A	B	C	D	E	F	G	H
	(1889)	(1906)	(1951)	(1962)	(1970)	(1973)	(1987)	(1992)
初 版	1842	1842	1842	1842	1842	1842	1842	1842
第2版		1843	1843	1843	1843	1843	1843	1843
第3版		1846	1844	1844	1844	1844	1844	1844
第4版			1846	1846	1846	1846	1846	1846
第5版	1854		1853	1853	1853	1853	1853	1853
第6版			c.1860	c.1860	c.1860	c.1855	c.1860	

- A *The Original Mother Goose's Melody*⁽⁷⁾
- B *Comparative Studies in Nursery Rhymes*⁽⁸⁾
- C *The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes*⁽⁹⁾
- D *The Annotated Mother Goose*⁽¹⁰⁾
- E *The Nursery Rhymes of England* (復刻本)⁽¹¹⁾
- F *Three Centuries of Nursery Rhymes and Poetry for Children*⁽¹²⁾
- G *Mother Goose, from Nursery to Literature*⁽¹³⁾

H Bibliographical Introduction⁽¹⁴⁾

Ⅲ. アメリカの海賊版

さて、アメリカで出版された海賊版というのは、*Mother Goose's Melodies*⁽¹⁵⁾ の復刻本⁽¹⁶⁾ の Introduction⁽¹⁷⁾ において、

...and most of the other material is lifted bodily from J. O. Halliwell's *Nursery Rhymes of England*, the third edition of which Munroe and Francis had printed in stereotype (pirated from England) in 1843.

……そして、その他の材料の大部分は J. O. ハリウェルの *The Nursery Rhymes of England* からそっくり無断引用されている。同書の第三版はマンロウ・アンド・フランシスが1843年に（イングランドから剽窃された）ステロ版印刷法で印刷したものである

と言及されているもののことである。

この海賊版は、さいわいにもデトロイトの Singing Tree Press から1969年に復刻出版されている。この復刻本によると、扉（写真①）にはたしかに 'Third Edition' および '1843' と印刷されているのである。

このことは

- (1) 復刻本の原書である海賊版は第3版を原本としており、
- (2) 元になった第3版が1843年に出版された（あるいは、海賊版そのものが1843年に出版された）

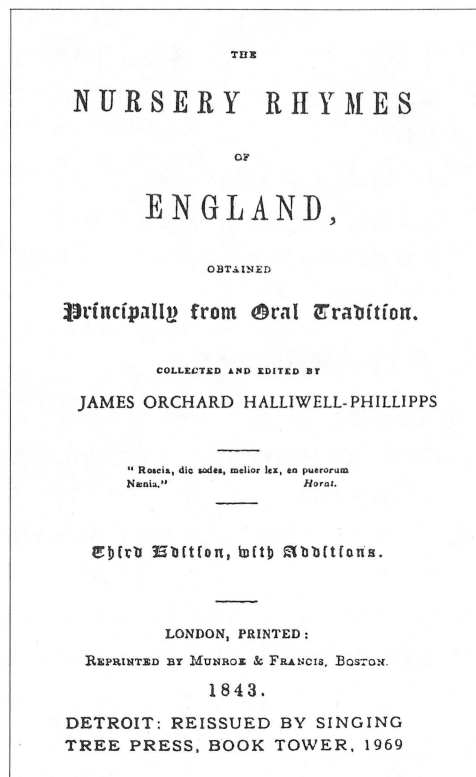
ことを示していると考えてよいだろう。

ところが、先に示した重版の出版年に関する諸説の一覧表に見るごとく、1843年にはまだ第3版は出版されていなかったはずなのである。

これから推論されることは、この海賊版が

- (1) 1843年に出版された第2版に基づいて同年に出版されたか、
- (2) 1844年に出版された第3版に基づいたものでありながら、なんらかの理由で出版年を1843年と偽ったか、
- (3) 本当に1843年に出版されていた第3版、またはそれと勘違いされるような版に基づいて出版されたか

の3つであろう。



写真① 海賊版の扉（復刻本による）

そこで、まず、この海賊版に載っている Preface を見てみると、

The first edition of this work was printed at the close of the year 1841, with a view only to a limited circulation among the members of the Percy Society ; but ...

この著作の初版は、パーシー協会の会員だけに配布する目的で、1841年の終わりに印刷されたのであるが、しかし……

に始まって、

… I have now to add my best thanks to R. S. Sharpe, Esq. William Chappell, Esq. and E.F. Rimbault, Esq. for a few interesting contributions.

ここに、二、三の興味深い資料提供に対し、R. S. シャープ氏、ウィリアム・チャッペル氏と E. F. リンボウルト氏に深甚なる感謝を追加しなければならぬ。

と終わるまでの文章と、また、'Oct. 31st, 1842' という日付ですが、第2版⁽¹⁸⁾のものとまったく一致していることが分かるのである。

さらに、この海賊版に収められている伝承童謡の数（通し番号で CCCCX まで）を、各版所収の唄の数⁽¹⁹⁾と比べてみると、第2版と一致していることが明らかになる。

すなわち、

- (1) Preface の文章が一致している、
- (2) 所収の唄の数が一致している

ことなので、「アメリカの海賊版はイギリスの第2版に基づいている」と一応結論づけられることになる。

IV. 第2版と海賊版の比較

海賊版が第2版に基づいたものであることに一応結論づけられたわけであるが、さらに詳しく両版の内容を比較検討してみることにする。

1. 唄の数と分類

まず、第2版と海賊版の頁割り、唄の分類と分類別の唄数を比べてみると次の通りになるのである。

こうして見る限り、頁割りはともかく、唄の分類、および分類別の唄数がまったく一致しているので、第2版と海賊版はまったく同じ内容であるように思われるのである。

	唄の数
初 版(1842)	300 ⁽²⁰⁾
第2版(1843)	410
第3版(1844)	468
第4版(1846)	547
第5版(1853)	659

	第2版 (1843)	海賊版 (1843)
Preface	4頁	3頁
Contents	2頁	1頁
1. Historical	20頁(26)	19頁(26)
2. Tales	76頁(104)	75頁(104)
3. Jingles	14頁(37)	14頁(37)
4. Riddles	9頁(28)	8頁(28)
5. Proverbs	4頁(12)	4頁(12)
6. Lullabies	4頁(10)	4頁(10)
7. Charms	4頁(8)	4頁(8)
8. Games	25頁(17)	24頁(17)
9. Paradoxes	3頁(8)	3頁(8)
10. Literal	3頁(8)	3頁(8)
11. Scholastic	3頁(7)	3頁(7)
12. Customs	4頁(8)	4頁(8)
13. Songs	32頁(94)	30頁(94)
14. Fragments	4頁(10)	3頁(10)
15. Translations	6頁(14)	5頁(14)
16. Appendix	7頁(19)	11頁(19)
17. Notes	32頁	32頁
18. Index	9頁	12頁
	265頁(410)	262頁(410)

() 内の数字は唄の数を示す

2. 唄の内容

次に、所収されている唄の内容と順序について比較してみることにする。

第2版においては、100番に

The cock's on the dunghill a blowing his horn ;
 The bull's in the barn a thrashing of corn ;
 The maids in the meadow are making of hay ;
 The ducks in the river are swimming away, ⁽²¹⁾

雄鶏は堆肥の上で大きな声で鳴いている

雄牛は納屋で小麦を脱穀している

娘たちは牧草地で干し草を作っている

川にいる鴨は泳ぎ去って行く

という唄が入っているのに、106番に

The cock's on the dunghill a blowing his horn ;
 The bull's in the barn a threshing of corn ;
 The maids in the meadows are making of hay ;
 The ducks in the river are swimming away.

という唄が置かれている。この2つの唄は、単複の点 (meadow と meadows, rivers と river), および同語異綴りの点 (thrashing と threshing) においてしか相違がないので、同じ唄であると断定してよいのである。

海賊版の方を見てみると100番には、第2版の100番の唄と同じ唄があり、106番には

Hinx, minx the old witch winks,
 The fat begins to fry ;
 There's nobody at home but jumping Joan,
 Father, mother, and I !
 ヒンクス, ミンクス, 老魔女がウィンクする
 脂肉が油で揚げ始める
 はね回るジョウン, 父さん, 母さん,
 それに私以外には家に誰もいないよ

という唄が来ている。

しかし、この唄は第2版の方では404番に置かれているもので、これに伴ってさらに唄の移動(繰り上げ)と追加がなされていることが分かる。その様子を表にして示すと次の通りになる。

	第 2 版 (1843)	海 賊 版 (1843)
100番	The cock's on the dunghill a blowing his horn ;	The cock's on the dunghill a blowing his horn ;
106番	The cock's on the dunghill a blowing his horn ;	Hinx, minx ! the old witch winks,
404番	Hinx, minx ! the old witch winks,	To market, to market,
405番	To market, to market,	As I was going o'er Westminster bridge,
406番	As I was going o'er Westminster bridge,	Every lady in his land
407番	Every lady in this land	Whiskum whaskum
408番	Whiskum whaskum	In fir tar is,
409番	In fir tar is,	Black we are, but much admired ;
410番	Black we are, but much admired ;	The Life and Death of Jenny Wren,

(すべて唄の一行目を引用してある)

海賊版の方で410番として追加された唄は6頁にまたがる大変長い唄があり、しかも、唄の番号(CCCCX)のあとに‘(see p. 67)’と付け加えられているだけではなく、さらに、唄の番号と詞句の間に

[The following is a copy of an old book “printed and sold by T. Evans, 79, Long-Lane, London”, 100 years ago.]

[次の唄は、ロンドンのロング-レイン79番地に住んでいた T. エヴァンスが100年前に印刷・発売した古い本から転載したものである。]

という説明が挿入されているのである。

このように、海賊版の方では

- (1) 唄の順序の変更
- (2) 新しい唄一点の追加

がなされているだけではなく、

(3) 追加された唄には、他の唄への参照と、出典の説明が付けられているのである。これだけの補訂作業がなされている以上、ハリウェル本人の手が入っていると考えの方が自然のように思われてならない。

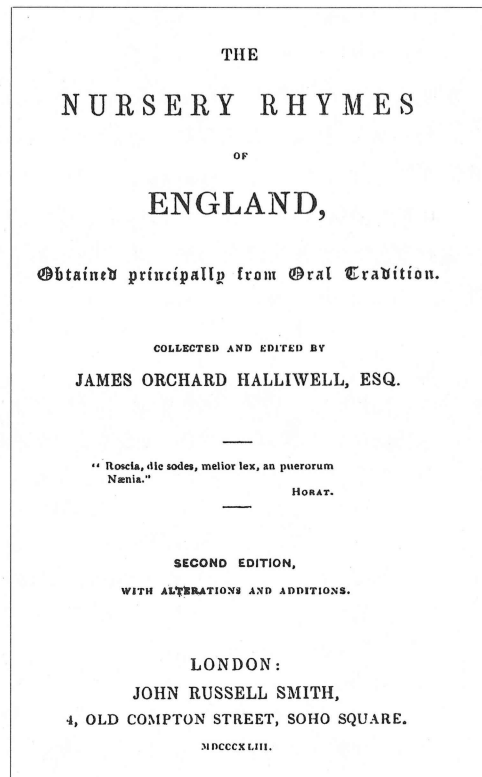
3. その他

さらに、第2版の扉(写真②)を海賊版のそれ(前掲)と比べてみると、次頁のような相違も見つかる。

ハリウェルがトーマス・フィリップス卿の長女ヘンリエッタ・エリザベス・モリニューと結婚したのは1842年8月9日であった⁽²²⁾が、フィリップスという姓を加えたのは1872年になってからとされている⁽²³⁾ので、著者名に変更が加えられたのはずっとあとのことしか考えられないことになる。

改訂の表示法を見ると、海賊版の原本はその前の版に追加がなされただけであることを示していると言えよう。たしかに、第2版と比べると、唄の削除(1編)と順序の移動(7編)の他には、1編の追加がなされているだけである。したがって、この追加を表示していると考えてよいのではないだろうか。

出版年の表記については、イギリスではローマ数字がいぜんと使用されていたが、アメリカでは早くからアラビア数字で示すのが



写真② 第2版の扉

	第 2 版 (1843)	海 賊 版 (1843)
著 者 名	James Orchard Halliwell, Esq.	James Orchard Halliwell-Phillipps
改訂の表記	with Alterations and Additions	with Additions
出版年の表記	MDCCCXLIII	1843.

一般的になっていたことを反映したものであるに過ぎないと考えてよいだろう。

V. おわりに

このように *The Nursery Rhymes of England* のアメリカ海賊版とイギリス第2版を比較検討してきた結果、

- (1) Preface, 分類別の唄数などの点からみれば、海賊版は基本的に第2版に基づいたものであると言えること、
- (2) 所収の唄の内容と順序を比べてみると、海賊版の方には第2版への訂正（1編削除と移動）と追加（1編）のあとが見られること、
- (3) その補訂作業はけっこう手がこんでいて、ハリウェルが自分で行なったと考える方が自然であると言えそうなこと

が明らかになったと考えられるのである。

これらのことは「第2版に訂正追加を施した補訂版がイギリスで出版されていた」という可能性を暗示していると受け取れるのであり、海賊版はその補訂版を無断出版したものであるという可能性が高いということになるわけなのである。

未だ断定はできないものの、第2版と第3版の間に、第2版の補訂版が出版されていた可能性のあることを推論してもおかしくないことを示し得たものと考ええるものである。

注

- (1) 1842年版はロンドンの T. Richards によって The Percy Society のために印刷された。この1842年が同書への初版であるとするのが通説である。
- (2) 今日では「イギリスとアメリカにおいて古くから口誦によって伝承されてきた童謡」を指していると解釈するのが一般的である。本稿においてはイギリスに限っても差し支えない。
- (3) *Tommy Thumb's Pretty Song Book* Vol.II (1744年) は39編、*Mother Goose's Melody* (1781年) は51編、*Gammer Gurton's Garland* (1783年) は約80編、*Mother Goose's Melodies* (1833年初版) は160編の唄を収めているが、*The Nursery Rhymes of England* には、1842年版において、299編の唄が収められている。
- (4) Iona and Peter Opie 著。Oxford University Press (Oxford) から出版。
- (5) 「複製：マザー・グースの世界」(ほるぷ出版、1992年)の一冊として複製出版されている。ケンブリッジ大学図書館にはハードカバーで装丁しなおされていないペーパーカバー本が蔵されている。
- (6) The Bodley Head Ltd. (London) から1970年に出版。

- (7) Joe Munsell's Sons (Albany) から出版。Isaiah Thomas (Worcester, MA) が1794年に出版した *Mother Goode's Melody*——この原本は1780年にイギリスで出版された——の復刻本で、William H. Whitmore による Preface の中に出てくる。
- (8) Lina Eckenstein 著。Duckworth & Co. (London) から出版。
- (9) (4)
- (10) W.S. Baring-Gould and C. Baring-Gould 著。Bramhall House (New York) から出版。
- (11) (6)
- (12) Iona and Peter Opie 著。児童書展のカタログとして Oxford University Press (London) から出版。
- (13) Gloria T. Delamar 著。McFarland and Company Inc. (Jefferson, NC) から出版。
- (14) 「復刻：マザーグースの世界」(ほるぷ出版, 1992年) の解説書。所収の G. Avery の解説文中に出てくる。
- (15) 1833年に Munroe & Francis (Boston, MA) から出版。
- (16) 1970年に Dover Publications, Inc. (New York) から出版。1840年代に C. S. Francis and Company (New York and Boston) から出版された版本の復刻。
- (17) E. F. Bleiler の執筆。
- (18) John Russell Smith (London) が出版。
- (19) 「復刻：マザーグースの世界」(ほるぷ出版) の解説書に収められている G. Avery の解説文による。
- (20) 実際のところは299が正しい。173番から175番へと飛んでいて、174番が抜けているからである。
- (21) この唄は初版には含まれていない。ちなみに、*Gammer Gurton's Garland* の1810年の Part III に
 The cock's on the dunghill a blowing his horn ;
 The bull's in the barn a threshing of corn ;
 The maids in the meadows are making of hay ;
 The ducks in the rivers are swimming away.
 という詞句で入っている。
- (22) *The Dictionary of National Biography* による。
- (23) 同上。